



株主の皆様へ

# 第74期 報告書

〈2021年1月1日～2021年12月31日〉



山崎製パン株式会社

証券コード:2212

# 株主の皆様へ



## 目次

株主の皆様へ	1
経営基本方針、 21世紀のヤマザキの経営方針	2
事業の概要	3
セグメント別の状況	5
当社グループの店舗網	12
製品情報	13
社会貢献への取り組み	15
財務諸表（連結）	17
財務諸表（単体）	19
YAMAZAKIインフォメーション	20
株式の状況等	21
グループ概要	22
株主メモ	裏表紙

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第74期事業年度（2021年1月1日から2021年12月31日まで）の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大に関しましてはワクチン接種が進み一旦は落ち着いたように見えてましたが、オミクロン株の出現もあり予断を許さない状況が続いております。当社グループは、社会の緊急事態の中にあって安定した製品の供給に当たるといふ、新しいヤマザキの精神に従い、科学的根拠に基づいた感染防止対策として、37.2℃以上の発熱や新型コロナウイルス独特の自覚症状がある者は自宅待機とし、自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理するとともに、デルタ株の感染拡大により職場内に感染が広がったことにより、炭酸ガス濃度測定器によって問題となる職場環境の整備改善を行い、常時職場内の換気をしながら炭酸ガス濃度を700ppm以下に保つなど、職場の感染防止対策の徹底に取り組んでまいりました。

このような中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策の上に行う業績向上対策として、いのちの道の教えに従う、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、お客様の変化に対応する製品開発を行い、各部門毎の業績向上をめざしました。また、主原料の小麦粉などの原料価格が高騰している中で、当社は、昨年10月に和洋菓子の価格改定並びに本年1月に食パン、菓子パン類の価格改定を行いました。和洋菓子の価格改定はお客様の求めに合致せず、苦戦いたしました。そのため、食パン、菓子パン類の価格改定では、2極作戦、3極作戦の製品施策・営業戦略を行い、お客様の求めに従った製品の提供をしたところ、着実な手応えをもって業績回復を実現いたしております。

当期の業績につきましては、山崎製パン単体の菓子パンが好調に推移したことに加え、一部連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。

さて、当社は、本年4月に東京証券取引所におけるプライム市場へ移行するとともに、第74回定時株主総会のご承認をいただき、監査等委員会設置会社に移行いたしました。監査等委員会設置会社への移行後の業務執行体制につきましては、社外取締役の数が取締役の3分の1となりますので、業務執行の中心機関を取締役会から常務会に移すとともに、常務会の下部機関として、「コーポレートガバナンス（企業統治）小委員会」、「営業生産合同（現業）小委員会」、「関係会社小委員会」を設置し、精度の高い効率的な業務執行体制を構築いたしました。

次期は、21世紀の新しいヤマザキの前進の時となります。引き続き、いのちの道の教えに従う、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を推進し、お客様の求めに合致する、新しい価値の創造と新しい需要の創造に取り組み、業績の向上を期してまいりますので、株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年3月

代表取締役社長 飯島延浩

# 経営基本方針

## 綱領

- (1) わが社は、企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与することを使命とし、個人の尊厳と自由平等の原理に基づき、いのちの道の教えの言葉に従い、困難に屈することのない勇氣と忍耐とによって、神のみこころにかなう永続する事業の実現を期すこと。
- (2) われわれは、常に良きものへ向って絶えず進歩しつづけるため、各人が自由な決心に基づき、正しき道につき、断固として実行し、自主独立の協力体制を作り、もって使命達成に邁進すること。

## 具体方針

21世紀のヤマザキは、新しいヤマザキの精神と新しいヤマザキの使命に導かれて、いのちの道の教えの言葉に従い、すべての仕事を種蒔きの仕事から開始する「部門別製品施策・営業戦略」、「小委員会によるなぜなぜ改善」を行ない、次の六つの具体方針の実践、実行、実証に邁進する。

- ① 最高の品質と最善のサービス(今日到達しうるベストオリティ・ベストサービスの実践、実行、実証)を目標とし、品質は今到達しうる最高のものであり、新鮮であること。それは製品、組織、仕事、工場、財産並びに設備のなかに表わさるべきこと。
- ② 充実した効率のよい積極的な組織体を作りあげ、そして維持拡充していくため、あらゆる可能の努力を注ぐこと。その組織体の人々は、会社を信頼し、仕事が喜びであり、普通ではできない仕事を完遂することが個人的な願望にまできていること。

- ③ 入手できる限りの、事業に独特な要求に適合した最善の設備と施設を備えること。  
この設備や施設の調達は、維持運営が経済的であることと会社の組織に最も仕事をしやすい道具を与えるという二つの観点から考えられること。
- ④ 産業界と一般社会との間に協力関係を創り出し、維持していくため、実行可能な一切のことを行なっていくこと。
- ⑤ 業務の遂行に関するすべての決定を行なうにあたって、常にその一件を処理する上での便宜よりも、事業全体にとって何が正しいか、何が最善であるかを中心に考えること。
- ⑥ 顧客に接するときは、常に公明正大で、かつ相手が何を欲しているかを十分に考慮すること。  
配達や品質やサービスについては、その成果が最優秀なものになるように努力すること。

## 21世紀のヤマザキの経営方針

当社は、21世紀の事業環境と社会の変化に対応するため、「企業経営を通じて社会の進展と文化の向上に寄与することを使命とし、自主独立の協力体制を作り、もって使命達成に邁進する」という顧客本位の精神で、潜在需要に着目しイノベーション(技術革新)によって需要を創造するという、前向き積極的なピーター・ドラッカー博士の経営理論に導かれる山崎製パン株式会社の「経営基本方針(綱領および具体方針)」を改めて高く掲げると同時に、これを補完するものとして、「日々、お取引先からご注文いただいた品は、どんな試練や困難に出会うことがあっても、良品廉価・顧客本位の精神でその品を製造し、お取引先を通してお客様に提供する」という、新しいヤマザキの精神に導かれ、科学的根拠の上に立った食品安全衛生管理体制の上に築き上げる科学的・合理的・効率的な事業経営手法として、生命の道の教えに従ったすべての仕事を種蒔きの仕事から開始する部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」を実践、実行、実証することで、新しい価値と新しい需要

を創造し、社会の負託に応え社業を前進させることを21世紀のヤマザキの経営方針といたします。

事業経営の具体的遂行に当たっては、経営陣、管理職は、本物の5S・全員参加の5Sとピーター・ドラッカー博士の5つの質問を連動させる「2本立ての5S」を行うとともに、生命の道の教えに従った部門別製品施策・営業戦略をピーター・ドラッカー博士の5つの質問と連動させ、「私たちの使命は何ですか」(What is our mission?)と問うだけでなく「私の使命は何ですか」(What is my mission?)と問い、生産部門・営業部門一体となった業務を推進するとともに、内部管理体制を充実・強化して、各部門毎の自主独立の協力体制を構築いたします。また、「良品廉価・顧客本位の精神で品質と製品、サービスをもって世に問う」というヤマザキの精神と「知恵と知識によって変化に挑戦し、新しい価値と新しい需要を創造する」という生命の道を導く言葉によって日々の仕事の実践、実行、実証に励み、業績の着実な向上を期してまいります。

## 事業の概要

### 当期における連結業績の概況

売上高 **1兆529億72百万円** (対前期比103.8%)

営業利益 **183億59百万円** (対前期比105.3%)

経常利益 **213億82百万円** (対前期比108.3%)

親会社株主に  
帰属する当期純利益 **103億78百万円** (対前期比149.2%)

### 当期の事業の概況

当期におけるわが国の一般経済環境は、新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が長期間にわたり、厳しい状況が続きましたが、9月末に緊急事態宣言が解除され、経済活動が正常化に向かう中で、持ち直しの動きが見られました。

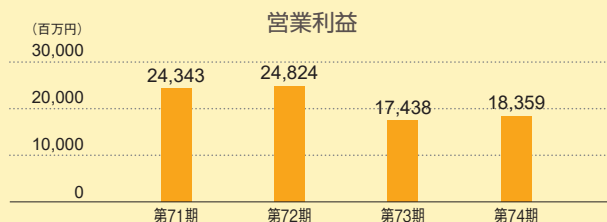
当業界におきましては、新型コロナウイルスの影響が長引く中、巣ごもり需要はありましたものの、緊急事態宣言解除以降、物価上昇も懸念されお客様の節約志向が更に強まり、販売競争が一段と激化しました。さらに、主原料の小麦粉に加え、卵や糖類、油脂などの原料価格の高騰もあり、収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。また、コンビニエンスストアやフレッシュベーカーリーの小売事業につきましては、駅やオフィス街立地を中心に緊急事態宣言の影響を受け厳しい状況が続きました。

このような情勢下にあります、当社グループは、緊急事態においてパン、和菓子、洋菓子類を緊急食糧として社会に提供するという新しいヤマザキの精神に従い、新型コロナウイルス感染拡大の中で製品の安定供給体制を確保するため、パート、アルバイトを含めた全従業員を対象として検温を実施し、37.2℃以上の発熱があ

る者は自宅待機とし、また発熱がない場合でも倦怠感や味覚・嗅覚がない等の新型コロナウイルス独特の自覚症状がある者も自宅待機とし、この自宅待機者数とPCR検査陽性者数を日々管理しました。また、マスクの着用や手指の消毒など日常の感染防止対策に加え、WEB会議等を活用して事業所間の出張を制限するなど感染防止対策を徹底するとともに、多人数による会食の原則禁止など公衆衛生上の遵守事項を徹底しました。さらに、工場ならびに事業所内の感染防止対策として炭酸ガス濃度測定器を導入して換気の悪い密閉空間の改善に取り組み、常時職場内の換気をしながら炭酸ガス濃度を700ppm以下に保ち感染防止対策とするとともに、従業員向けに新型コロナウイルスの職域接種を推進し、社会的使命の達成に全力を挙げて取り組んでまいりました。

このような状況の中で、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策の上に行う業績向上対策として、いのちの道の教えに従う、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」によって、ルヴァン種等を活用した品質向上をはかるとともに、女性製品開発担当者を活用した新製品開発を推進するなど、各部門毎の業績向上をめざしました。また、日次管理・週次管理の経営手法をヤマザキパンの小売事業に有効に機能させるため小売事業業績改善プロジェクトを設置し、デイリーヤマザキやヴィード・フランスをはじめとする小売事業の抜本的な業績改善に取り組むとともに、いのちの道の教えに従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求するため、小売事業本部内に戦略製品・戦略商品開発推進チームを設置し、ヤマザキパンの総力を挙げて自社事業の業績改善をめざした戦略製品の開発推進に取り組んでまいりました。

また、常務会の下部機関として、問題課題を協議検討し決議して常務会に提案する小委員会「コーポレート



ガバナンス(企業統治)小委員会]、「営業生産合同小委員会」、「関係会社小委員会」を設置し、あるべき姿としての問題課題の解決案を見出し、精度の高い効率的な業務執行を行い、業績向上を期す体制といたしました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、日次管理・週次管理に取り組み日々の仕事の精度を高めるとともに、D Y商品・運営合同小委員会を週次で開催し、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して、ランチパックや中華まん、デイリーホットなどにおいて当社グループ商品の充実と戦略商品の開発に取り組みました。

当期の業績につきましては、山崎製パン単体の菓子パンが好調に推移したことに加え、一部連結子会社の業績が改善したこともあり、増収増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益はコロナ禍に伴う店舗助成金収入もあり増益となりました。

## 次期の見通し

今後の見通しといたしましては、わが国経済は持ち直しの動きが続くことが期待されますが、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大の影響が懸念され、先行きは予測を許さない状況が続くものと思われます。

当業界におきましては、お客様の節約志向が更に強まり販売競争が激しさを増す中で、主原料の小麦粉や油脂、糖類など原材料価格の高騰や、都市ガス、電力などのエネルギーコストの上昇が見込まれており、収益が圧迫される厳しい経営環境になるものと予測されます。

当社は、原材料の高騰やエネルギーコストの上昇が見込まれる中、小麦粉の大幅な値上げに対処して、2022年1月1日出荷分から、一部の食パンおよび菓子パンの価格改定を実施いたしました。この改定を軌道に乗せ業績向上に結び付けるため、2021年10月1日に実施した和菓子、洋菓子の価格改定を踏まえ、低価格帯の製品

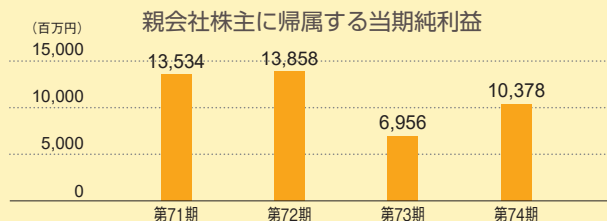
開発を強化して価格帯毎に漏れのない製品施策を推進するなど準備を進め、確実な手応えをもって価格改定を実施することができました。

当社グループは、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策の徹底につとめるとともに、いのちの道の教えに従った、営業・生産が一体となった部門別製品施策・営業戦略、小委員会による「なぜなぜ改善」によって、変化するお客様のニーズを的確に捉え、各部門毎の新しい価値と新しい需要を創造して業績向上をめざしてまいります。また、デイリーヤマザキやフレッシュベカリーの小売事業につきましては、小売事業業績改善プロジェクトにおいて日次管理・週次管理を徹底し、戦略製品・戦略商品開発推進チームを中心に、いのちの道の教えに従ったヤマザキパンの小売事業のあるべき姿を追求してヤマザキパングループの総力を挙げた戦略製品の開発に取り組み、小売事業の業績向上をめざしてまいります。【セグメント別の状況は5頁から11頁のとおりです。】

### 次期の連結業績見通し

売上高	1兆560億円	(対前期比 — %)
営業利益	240億円	(対前期比 130.7%)
経常利益	260億円	(対前期比 121.6%)
親会社株主に 帰属する当期純利益	120億円	(対前期比 115.6%)

(注) 次期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績見通しの売上高は当該会計基準等を適用した業績見通しとなります。このため、当該基準適用前の当期の実績値に対する対前期比は記載しておりません。なお、当期と同様の基準で算出した次期の売上高の対前期比は103.8%となっております。



## セグメント別の状況

### 食品事業

売上高 **9,805億99百万円** (対前期比 103.0%)



93.1%  
売上高構成比

食パン部門 売上高 **951億60百万円** (対前期比 99.5%)

9.0%

食パンは、品質訴求と売場づくりを推進した主力の「ロイヤルブレッド」が伸長しました。また、「ダブルソフト」や低価格帯の「モーニングスター」にルヴァン種を活用し、高単価製品の開発やリニューアルを実施して取扱拡大をはかりましたが、前期の食パンの需要急増の反動もあり、前期の売上を下回りました。

次期は、科学的根拠の上に立ったヤマザキ独自の技術を活用し、3大ブランドの「ロイヤルブレッド」、「ダブルソフト」、「超芳醇」を中心に品質訴求と売場づく

りを推進するとともに、お客様の求めに対応した低価格帯食パンも充実強化し、「モーニングスター」、「スイートブレッド」の取扱拡大をはかってまいります。

#### 食パンの3大ブランド



ロイヤルブレッド



ダブルソフト



超芳醇



超芳醇ゴールド



ダブルソフト プレミアム



モーニングスター



スイートブレッド

## 菓子パン部門 売上高**3,599億34**百万円 (対前期比 105.6%)

34.2%

菓子パンは、主力の高級シリーズや「まるごとソーセージ」、「アップルパイ」が好調に推移するとともに、ラインアップを充実させた「ランチパック」が堅調に推移しました。また、買い置き需要に対応した「ベイクワン」シリーズなど複数個入り製品が伸長し、「フレンチクルーラー」などチルド菓子パンが伸長するとともに、新製品の「マリトッツォ」シリーズが大きく寄与したこともあり、売上は前期を上回りました。

次期は、ルヴァン種を活用した品質向上と価格帯別の新製品開発を推進するとともに、「ベイクワン」シリーズなど値頃感のある製品や高単価のチルド菓子パンのラインアップを充実強化し、取扱拡大をはかってまいります。主力の「ランチパック」につきましては、価格帯別の新製品開発を推進し売上拡大をはかってまいります。



高級つぶあん



マリトッツォ



マリトッツォ  
(オレンジピール入り)



フレンチクルーラー



ランチパック



アップルパイ



まるごとソーセージ



もっちパン  
(ベイクワン)



塩バターフランスパン  
(ベイクワン)

## セグメント別の状況

**和菓子部門 売上高683億79百万円** (対前期比 96.7%)

6.5%

和菓子は、新規製法の餡を活用し、主力の団子、大福、まんじゅうなどの取扱拡大をはかりましたが、10月に実施した価格改定の影響もあり、前期の売上を下回りました。

次期は、部門の業務執行体制を整備するとともに、

女性製品開発担当者を活用した新製品開発を推進し、新規製法の餡を活用し、お客様に満足していただける高品質・高付加価値製品や低価格帯製品の開発に取り組むとともに、値頃感のある複数個入り製品やチルド対応製品、和洋折衷製品の開発に取り組んでまいります。



あんずっしりどら焼き



クリームたっぷり生どら焼



北海道チーズ蒸しケーキの  
チーズクリームサンド



塩豆大福



草大福



串だんご



北海道チーズ蒸しケーキ



吹雪まんじゅう



黒糖まんじゅう



**洋菓子部門 売上高1,448億61百万円** (対前期比 103.6%)

13.7%

洋菓子は、主力の2個入り生ケーキが伸長するとともに、「大きなツインシュー」などのシュークリームや、3月に品質を向上させた「プレミアムスイーツ」シリーズが伸長しました。さらに、(株)不二家の洋菓子事業が好調に推移したこともあり、前期の売上を上回りました。

次期は、2個入り生ケーキや「まるごとバナナ」など

主力製品の品質向上をはかるとともに、価格帯別の製品開発を推進し、売上拡大をはかってまいります。また、女性製品開発担当者による積極的な新製品開発を推進し、コンビニエンスストア向け製品も含め充実強化をはかってまいります。



莓のショートケーキ



モンブラン



まるごとバナナ



エッグタルト



あんバタースプレ



大きなツインシュー

プレミアムスイーツ



ワッフルサンド



生クリームロール

ふんわりワッフル

## セグメント別の状況

**調理パン・米飯類部門 売上高1,430億86百万円** (対前期比 100.4%)

13.6%

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカにおいて、主要販路であるコンビニエンスストアチェーンとの取引減少もありましたが、海外子会社を新規連結したことによる調理パンの売上寄与もあり、売上増となりました。

次期は、お客様の視点に立ったマーケティング活動を強化し、市場の変化に対応した製品開発と製品提案を積極的に推進し、量販店やコンビニエンスストアチェーンとの取引強化をはかってまいります。



具たっぷり手巻おにぎり



こだわりのソースの焼きそばパン



おかず幕の内弁当



濃厚な味わいのミートソーススパゲティ



あらびきポークのホットドッグ



ひとくちサンド



ミックスフルーツサンド

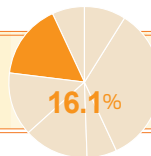


とろ〜りとしたチーズのハンバーガー



てりやきハンバーガー

製菓・米菓・その他商品類部門 売上高 **1,691億77百万円** (対前期比 103.9%)



製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の「カントリーマアム チョコまみれ」が好調に推移するとともに、ヤマザキビスケット(株)の「エアリアル」や(株)東ハトの「ポテコ」が伸長し、前期の売上を上回りました。

次期は、グループ各社の特徴のある製品群を活用したカテゴリー別のブランド戦略を推進し売上拡大をはかってまいります。



エアリアル



チップスター



ポテコ



ソルティ



ノアール



ルヴァンプライム



キャラメルコーン



オールレーズン



カントリーマアム



カントリーマアム  
チョコまみれ



ミルキー

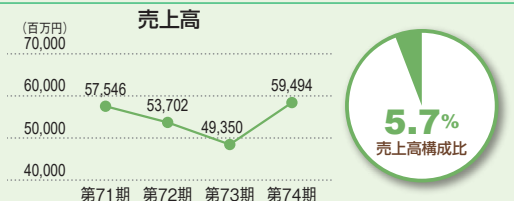


ルック

## セグメント別の状況

### 流通事業

売上高 **594億94百万円** (対前期比 120.6%)



デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の中、住宅立地の店舗売上が堅調に推移し、全体としてチェーン全店売上高は前期を上回りました。商品面では、「ランチパック 大盛り」シリーズや、レンジアップ対応のチルド中華まんなど戦略製品が寄与するとともに、「味わいたまごサンド」がお客様の好評を得るなどデイリーホットが伸長しました。

その結果、営業総収入は直営店舗数の増加により増収となりましたが、収益面では人件費等のコストの増加もあり減益となりました。なお、当期より㈱スーパーヤマザキを連結したこともあり、流通事業の売上は増加しました。

次期は、お客様に喜ばれるヤマザキ独自のコンビニエンスストアチェーンとして、新しい価値と新しいサービスの提供につとめ、新たな需要を創造してまいります。日次管理・週次管理に取り組み日々の仕事の精度を上げるとともに、小売事業業績改善プロジェクトを通して事業の抜本的な改善に取り組み、松戸ドミナントプロジェクトにおいてデイリーヤマザキの強みであるデイリーホットの充実強化に取り組みまいります。引き続き、DY商品・運営合同小委員会を週次で開催し、戦略製品・戦略商品開発推進チームと連携して、ヤマザキの技術を最大限に活用した競争力のある製品と商品開発を推進してまいります。



デイリーヤマザキ  
当期末の店舗数

**1,389**店

(前期末差 31店減)

●デイリーヤマザキ

**1,045**店

(前期末差 15店減)

●ニューヤマザキディリーストア

**332**店

(前期末差 14店減)

●ヤマザキディリーストア

**12**店

(前期末差 2店減)

## 当社グループの店舗網

### デイリーヤマザキ (コンビニエンスストア)



千葉：五井駅前店 (2021年9月改装オープン)

### ヤマザキショップ (地域密着型小売店)



長崎：中野米ノ山店 (2021年3月オープン)

### 不二家 (洋菓子店)



兵庫：FUJIYA CONFECTIONERY 日生中央サピエ店  
(2021年4月オープン)

### ハースブラウン (フレッシュベーカリー)



東京：武蔵境店 (2021年12月オープン)

### ヴィ・ド・フランス (ベーカリーカフェ)



東京：Rêve de Paris 蒲田店 (2021年4月改装オープン)

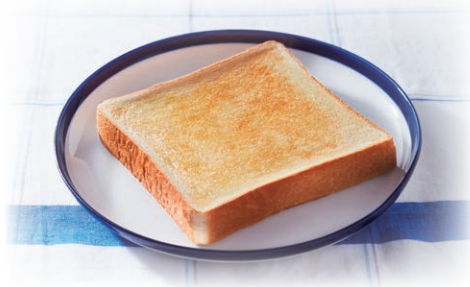
### ヴィ・ド・フランス (ベーカリーカフェ)



大阪：住吉大社駅店 (2021年12月改装オープン)

## 品質とおいしさ

# 「ロイヤルブレッド」が10周年を迎えました



「ロイヤルブレッド」は、「品質とおいしさ」をテーマに、当社独自の技術と製法により、“小麦本来の味と香り”を活かして焼きあげた、バター風味とコクのあるしっとりとした食感が特長の食パンです。

2012年に発売を開始し、多くのお客様からご好評をいただき本年10周年を迎えました。

良質な上級小麦粉とバターを使用しており、トーストすると香りが引き立ちサクッとした歯切れの良い食感を、また、そのまま“生”でお召しあがりいただくとロドけの良いやわらかな食感をお楽しみいただけます。

### 「ロイヤルブレッド」を使ったレシピ ロイヤルたまごサンド

#### 材料(1人分)

- ロイヤルブレッド (8枚切) … 2枚
- ゆで卵 …………… 2個

#### <A>

- マヨネーズ …………… 大さじ2
- 水 …………… 小さじ2
- 塩・こしょう …………… 少々

#### 作り方

- ① ゆで卵1個は、たまごスライサーで縦と横に1回ずつスライスします。
- ② 残りのゆで卵1個は黄身と白身に分けます。白身はボウルに入れ、フォークで粗くつぶします。
- ③ ②に①と残りの黄身、Aを入れて混ぜ合わせ、パンの中央にのせてもう1枚のパンでサンドし、対角線にカットします。



## ミミまでソフト

# 「ダブルソフト」が新しくなりました

「ダブルソフト」は、当社独自の技術と製法により、そのまま食べてもふんわりとやわらかく、トーストしてもミミまでサクッとやわらかな食感で、ほんのりとした甘さとミルクの風味が特長の食パンです。

昨年11月より「ダブルソフト」の特長はそのままに、さらなる品質向上をめざして生地配合の改良を実施しました。パン生地に発酵種ルヴァンを使用することで、しっとりとした食感を引き出すとともに、乳風味をさらに高め、コクのある味わいに仕上がっています。

長年ご愛顧いただいているお客様はもとより、さらに多くの方々にお召しあがりいただきたい逸品です。



毎月11日は **ワンダブル!!**  
**ダブルソフトの日**

「ダブルソフト」は、真ん中から半分に分けられる特長があります。半分に分けた時、それぞれが「数字の1」に見えることから、「1（ワン）が2個（ダブル）並ぶこと」にちなみ、毎月11日が「ダブルソフトの日」、11月が「ダブルソフトでワンダブル月間」として、日本記念日協会に認定されました。

## 「マリトッツォ」が

# 「第40回食品ヒット大賞 優秀ヒット賞」を受賞しました

このたび、当社の「マリトッツォ」シリーズが「第40回食品ヒット大賞 優秀ヒット賞」を受賞しました。

食品ヒット大賞は、日本食糧新聞社が1982年に制定したもので、毎年、食品業界の活性化に大きく寄与した商品が表彰されています。

「マリトッツォ」は、イタリア・ローマ発祥のお菓子をイメージしたパン菓子で、ブリオッシュ生地になっぴりのホイップクリームをサンドしています。

当社の「マリトッツォ」は、常温の菓子パンや要冷蔵の生クリームを使用したチルド菓子パンなどさまざまなタイプをご用意しております。



### 公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団(学術文化活動)

## 食品科学振興のための研究助成活動を支援しています

当社は、社会貢献への取組みの一環として、わが国の食品科学における総合研究の進展のために、公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団を通じて、米麦等主要食糧に関する食品科学、食品の加工技術、食品と健康、安全性等の分野を中心に研究者への助成活動を支援しております。

飯島藤十郎記念食品科学振興財団は、当社創業者の故飯島藤十郎社主が主たる基本財産を出捐し、当社と共同で1984年に設立され、農林水産省所管の財団法人として着実な活動を積み重ねた後、2013年4月に公益財団法人に移行しました。

### 第33回学術講演会



学術講演会にて開会挨拶をする飯島幹雄理事長

### 学術研究助成事業等

当財団の設立から今日までの38年間に実施された助成・表彰事業の総件数は2,700件を超え、助成額では総額49億7,000万円に達しております。

食品科学分野に係わる学術研究助成では、全国の大学および公的研究機関等の個人研究、共同研究を対象に1,676件、33億2,735万円の助成を行いました。

また、学術研究国際交流援助では、研究者の海外派遣援助、国際学術会議等開催援助および外国人留学生研究助成として、336件、2億2,811万円の助成を行いました。

### 飯島藤十郎食品科学賞・食品技術賞

当財団では食品科学の学術研究および食品加工等の技術開発に優れた業績をあげた研究者、研究グループを表彰し研究奨励金を贈呈する、飯島藤十郎賞（「飯島藤十郎食品科学賞」および「飯島藤十郎食品技術賞」）を設けております。

これまでに51件、研究奨励金の総額は1億6,500万円となっております。



飯島藤十郎食品科学賞



## 学術講演会の開催

当財団の事業活動の一環として、学術研究助成の研究成果発表、飯島藤十郎賞受賞者の特別講演からなる学術講演会を毎年開催しています。2021年度は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、昨年度に引き続き、会場参加者の人数を控えめにして、希望者には別途動画を配信させていただきました。また、研究成果をとりまとめた財団年報を発行し、学術研究成果の紹介と食品科学の知識の普及につとめております。



学術講演会が開催された山崎製パン総合クリエイションセンター



飯島藤十郎食品科学賞を受賞された奈良先端科学技術大学院大学の高木博史教授による特別講演

### ●第33回学術講演会テーマ（敬称略）

#### 個人研究

- 演題 「凍結小麦ドウ系食品中の氷結晶の再結晶化学動に関する研究」  
座長 鈴木 徹（東京海洋大学産学・地域連携推進機構 特任教授）  
講演者 萩原 知明（東京海洋大学学術研究院 食品生産科学部門 教授）
- 演題 「イムノクロマト試験紙によるパン種微生物叢のモニター技術の開発」  
座長 一色 賢司（（一財）日本食品分析センター 学術顧問（北海道大学名誉教授））  
講演者 富永 達矢（埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 専門研究員）

#### 特定課題研究

- 演題 「過熱水蒸気の水熱反応特性の解明及び地域糖質資源の高機能化への応用に関する研究」  
座長 岩元 睦夫（元農林水産省農林水産技術会議事務局長）  
講演者 北原 兼文（鹿児島大学 農学部 教授）

#### 特別講演

##### 【飯島藤十郎食品科学賞受賞研究】

- 演題 「製パンプロセスにおけるパン酵母のストレス耐性機構の解析と育種への応用に関する研究」  
座長 大澤 俊彦（愛知学院大学 特任教授（名古屋大学名誉教授））  
講演者 高木 博史（奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授）

##### 【飯島藤十郎食品科学賞受賞研究】

- 演題 「サルコペニアに有効な機能性蛋白質・ペプチド食材の開発」  
座長 清水 誠（東京農業大学 客員教授（東京大学名誉教授））  
講演者 二川 健（徳島大学大学院 医歯薬学研究部 教授）

# 財務諸表（連結）

## 貸借対照表のポイント

### 流動資産

現金及び預金が295億55百万円増加したこと等により、流動資産合計で337億29百万円増加し、2,899億84百万円となりました。

### 有形・無形固定資産

有形固定資産は、生産能力の増強や品質向上のための生産設備の更新を実施したこと等により129億55百万円増加、また無形固定資産は、新規連結に伴う借地権等の増加により7億76百万円増加し、有形・無形固定資産合計は3,507億86百万円となりました。  
当期の設備投資額は、436億25百万円、減価償却実施額は389億97百万円であります。

### 投資その他の資産

連結範囲の変更に伴い投資有価証券が減少したこと等により45億52百万円減少し、1,165億81百万円となりました。

### 負債合計

新規借入等により、負債合計は230億74百万円増加し、3,751億35百万円となりました。

### 純資産合計

自己株式95億76百万円の取得による減少はありましたが、利益剰余金が108億29百万円増加、退職給付に係る調整累計額が年金資産の運用収益の向上により83億52百万円改善したこと等により、純資産合計は198億33百万円増加し、3,822億17百万円となりました。

## 損益計算書のポイント

### 売上高

単体の菓子パンや、子会社の㈱不二家、㈱東ハト等が順調に売上を伸ばし、また新規連結子会社の寄与もあり、前期に比べ3.8%の増収となりました。

### 営業利益

販売費及び一般管理費が人件費の増加により前期を0.1%上回りましたが、売上原価率が前期を0.1%下回り、前期に比べ5.3%の増益となりました。

### 経常利益

外貨建貸付金に係る為替差益の計上もあり前期に比べ8.3%の増益で、売上高経常利益率は2.0%となりました。

### 親会社株主に帰属する当期純利益

コロナ禍に伴う店舗助成金収入もあり、前期に比べ49.2%の増益となりました。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期末	前期末	増減
	2021年12月31日現在	2020年12月31日現在	
<b>資産の部</b>			
流動資産	289,984	256,255	33,729
固定資産	467,367	458,188	9,179
有形固定資産	328,527	315,572	12,955
無形固定資産	22,258	21,481	776
投資その他の資産	116,581	121,134	△4,552
<b>資産合計</b>	<b>757,352</b>	<b>714,443</b>	<b>42,908</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	235,286	216,962	18,323
固定負債	139,848	135,098	4,750
<b>負債合計</b>	<b>375,135</b>	<b>352,060</b>	<b>23,074</b>
<b>純資産の部</b>			
株主資本	315,910	314,684	1,226
資本金	11,014	11,014	-
資本剰余金	9,633	9,660	△27
利益剰余金	310,080	299,251	10,829
自己株式	△14,817	△5,241	△9,576
その他の包括利益累計額	26,663	15,802	10,861
非支配株主持分	39,643	31,896	7,746
<b>純資産合計</b>	<b>382,217</b>	<b>362,383</b>	<b>19,833</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>757,352</b>	<b>714,443</b>	<b>42,908</b>

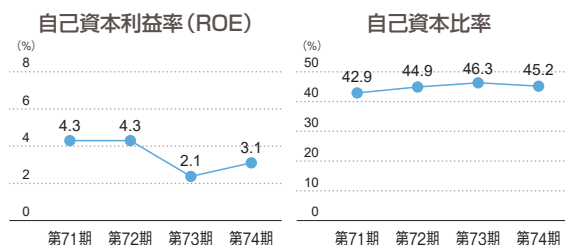
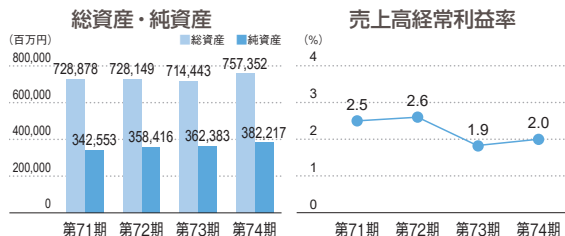
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期	前期	増減
	2021年1月1日から2021年12月31日まで	2020年1月1日から2020年12月31日まで	
売上高	1,052,972	1,014,741	38,230
売上原価	685,116	661,123	23,993
売上総利益	367,855	353,618	14,237
販売費及び一般管理費	349,496	336,180	13,316
<b>営業利益</b>	<b>18,359</b>	<b>17,438</b>	<b>921</b>
営業外収益	4,624	3,921	703
営業外費用	1,601	1,625	△23
<b>経常利益</b>	<b>21,382</b>	<b>19,734</b>	<b>1,647</b>
特別利益	2,430	273	2,157
特別損失	3,857	3,601	256
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>19,955</b>	<b>16,406</b>	<b>3,548</b>
法人税等合計	7,475	8,423	△948
<b>当期純利益</b>	<b>12,480</b>	<b>7,983</b>	<b>4,497</b>
非支配株主に帰属する当期純利益	2,102	1,026	1,075
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>10,378</b>	<b>6,956</b>	<b>3,421</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期	増減
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,071	47,157	9,913
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,790	△38,623	832
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,070	△11,585	13,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	927	△22	950
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	22,279	△3,073	25,352
現金及び現金同等物の期首残高	102,842	105,916	△3,073
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,373	-	8,373
現金及び現金同等物の期末残高	133,495	102,842	30,652

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書 (2021年1月1日から2021年12月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額							非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	11,014	9,660	299,251	△5,241	314,684	25,168	-	99	91	△9,556	15,802	31,896	362,383	
当期変動額														
剰余金の配当			△4,782		△4,782								△4,782	
親会社株主に帰属する当期純利益			10,378		10,378								10,378	
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△27			△27								△27	
連結子会社の増加等に伴う利益剰余金の増加			5,233		5,233								5,233	
自己株式の取得				△9,576	△9,576								△9,576	
自己株式の処分		0		0	0								0	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,612	0	-	895	8,352	10,861	7,746	18,607	
当期変動額合計	-	△27	10,829	△9,576	1,226	1,612	0	-	895	8,352	10,861	7,746	19,833	
当期末残高	11,014	9,633	310,080	△14,817	315,910	26,780	0	99	987	△1,204	26,663	39,643	382,217	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務諸表（単体）

## 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期末	前期末	増減
	2021年12月31日現在	2020年12月31日現在	
資産の部			
流動資産	165,847	147,421	18,425
固定資産	390,626	387,089	3,537
有形固定資産	209,067	208,922	145
無形固定資産	6,209	5,416	793
投資その他の資産	175,349	172,750	2,598
資産合計	556,474	534,510	21,963
負債の部			
流動負債	150,600	142,577	8,022
固定負債	105,062	88,143	16,919
負債合計	255,663	230,721	24,941
純資産の部			
株主資本	274,491	279,027	△4,536
資本金	11,014	11,014	-
資本剰余金	9,676	9,676	0
利益剰余金	268,618	263,578	5,039
自己株式	△14,817	△5,241	△9,576
評価・換算差額等	26,320	24,761	1,558
純資産合計	300,811	303,789	△2,978
負債純資産合計	556,474	534,510	21,963

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	当期	前期	増減
	2021年1月1日から 2021年12月31日まで	2020年1月1日から 2020年12月31日まで	
売上高	741,371	730,270	11,100
売上原価	502,309	492,234	10,075
売上総利益	239,062	238,036	1,025
販売費及び一般管理費	224,311	221,302	3,009
営業利益	14,750	16,734	△1,983
営業外収益	5,062	4,432	629
営業外費用	1,190	1,391	△201
経常利益	18,622	19,775	△1,152
特別利益	150	122	28
特別損失	3,794	6,685	△2,891
税引前当期純利益	14,979	13,211	1,767
法人税、住民税及び事業税	5,848	6,420	△572
法人税等調整額	△690	△696	6
法人税等合計	5,157	5,723	△565
当期純利益	9,821	7,488	2,333

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書（2021年1月1日から2021年12月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本										評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計				
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金							自己株式	株主資本 合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余 金	資本剰余 金合計		配当準備 積立金	退職給与 積立金	圧縮記帳 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金					利益 剰余金 合計	
当期首残高	11,014	9,664	12	9,676	2,753	6	500	615	251,380	8,323	263,578	△5,241	279,027	24,761	303,789	
当期変動額																
剰余金の配当										△4,782	△4,782		△4,782		△4,782	
圧縮記帳積立金の取崩								△3		3	-		-		-	
別途積立金の積立									2,700	△2,700	-		-		-	
当期純利益										9,821	9,821		9,821		9,821	
自己株式の取得												△9,576	△9,576		△9,576	
自己株式の処分			0	0								0	0		0	
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）															1,558	1,558
当期変動額合計	-	-	0	0	-	-	-	△3	2,700	2,342	5,039	△9,576	△4,536	1,558	△2,978	
当期末残高	11,014	9,664	12	9,676	2,753	6	500	612	254,080	10,666	268,618	△14,817	274,491	26,320	300,811	

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# YAMAZAKI インフォメーション

## ～ヤマザキ「春のパンまつり」～ “白いスマイルポウル”プレゼント!

2022年2月1日（火）から4月30日（土）までの期間、ヤマザキ「春のパンまつり」を実施しております（北海道地区は3月1日（火）から5月31日（火）までの期間）。

対象商品に貼付された点数シール28点につき“白いスマイルポウル”を必ず1枚プレゼントいたします。

詳しくは、店頭の商品シール台紙または当社ホームページ等をご覧ください。

### 「春のパンまつり」キャンペーンページアドレス

<https://www.yamazakipan.co.jp/campaign/spring/>

### 「春のパンまつり」キャンペーンツイッターアカウント

〈アカウント名〉山崎製パン@春のパンまつり

〈ページアドレス〉[https://twitter.com/yamazakipan\\_cp](https://twitter.com/yamazakipan_cp)



## 株主優待情報

株主様の日頃のご支援にお応えするため、毎年12月31日現在の株主様（ご所有株式数1,000株以上）に対し、3,000円相当の自社製品の詰合せを毎年4月にお届けいたします。



写真は本年4月にお届けする予定のものです。

株主優待制度は、当社株式1,000株（単元株式数100株×10単元）以上を所有されている株主様を対象といたします。

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、投資家の皆様向けの「決算・IR情報」をはじめ、製品情報やおすすめのレシピなど、さまざまな情報を公開しています。



<https://www.yamazakipan.co.jp/>

## 株式の状況 (2021年12月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	800,000,000株
発行済株式総数	220,282,860株
株主総数	24,121名 (前期末比4,573名増)

### 大株主

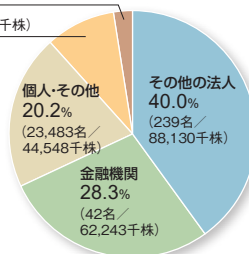
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
飯島興産株式会社	18,777,895	8.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,594,900	8.7
公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	12,500,000	5.8
株式会社日清製粉グループ本社	11,062,343	5.1
三菱商事株式会社	9,849,655	4.6
丸紅株式会社	8,165,880	3.8
住友商事株式会社	7,232,800	3.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,036,500	3.3
明治安田生命保険相互会社	6,501,500	3.0
株式会社みずほ銀行	3,946,419	1.8
株式会社三井住友銀行	3,946,419	1.8

(注) 1. 当社は、自己株式を7,447,421株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して算出してあります。

### 株式分布状況

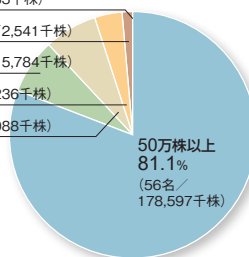
#### ●所有者別

証券会社	2.5% (39名 / 5,579千株)
外国人	9.0% (318名 / 19,781千株)



#### ●所有株数別

100株未満	0.0% (2,345名 / 33千株)
100株以上	1.2% (11,910名 / 2,541千株)
1,000株以上	7.2% (9,428名 / 15,784千株)
1万株以上	3.7% (318名 / 8,236千株)
10万株以上	6.8% (64名 / 15,088千株)



## 役員・従業員

### 役員 (2022年3月30日現在)

代表取締役社長	飯島 延浩	常務取締役	園田 誠
取締役副社長	飯島佐知彦	取締役	島田 秀男 (社外取締役)
取締役副社長	飯島 幹雄	取締役	畑江 敬子 (社外取締役)
専務取締役	横濱 通雄	取締役	佐藤 健司
専務取締役	会田 正久	常勤監査等委員	
専務取締役	犬塚 勇	取締役	松田 道弘 (社外取締役)
専務取締役	関根 治	常勤監査等委員	
専務取締役	深澤 忠史	取締役	齋藤 昌男 (社外取締役)
		監査等委員	
		取締役	馬場久萬男 (社外取締役)
		監査等委員	

### 従業員 (2021年12月31日現在)

連結	32,527名 (男性23,695名、女性8,832名)
当社	19,985名 (男性15,823名、女性4,162名)

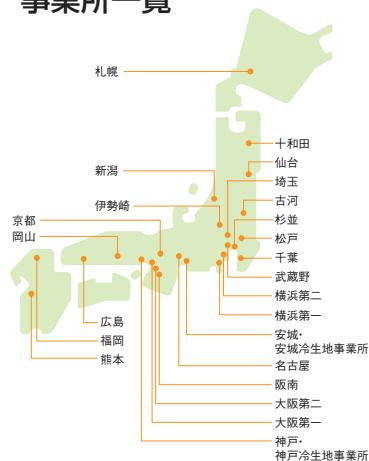
# グループ概要 (2021年12月31日現在)

## 重要な子会社

会社名	資本金(百万円)	当社の議決権比率(%)	主要な事業内容
株式会社不二家	18,280	54.4	洋菓子、チョコレート、キャンディ、クッキー等の製造および販売
株式会社サンデリカ	2,000	100.0	調理パン、米飯類等の製造および販売
ヤマザキビスケット株式会社	1,600	80.0	ビスケット、スナック等の製造および販売
株式会社東ハト	2,168	95.4	ビスケット、スナック等の製造および販売
株式会社ヴィ・ド・フランス	100	100.0	ベーカリーカフェの経営
株式会社イケダパン	100	80.0	パン、和・洋菓子、米飯類等の製造および販売
大徳食品株式会社	100	100.0	麺類の製造および販売
株式会社ヴィ・ディー・エフ・サンロイヤル	236	100.0	パン用冷凍生地等の製造および販売ならびにインスタベーカリーの経営
ヴィ・ド・フランス・ヤマザキ,Inc.(米国)	5,000千US\$	100.0	ベーカリー製品の製造および販売ならびにベーカリーカフェの経営
株式会社高知ヤマザキ	100	100.0	パン、和・洋菓子等の製造および販売
株式会社スリーエスフーズ	480	100.0	パンの製造および販売
株式会社サンキムラヤ	100	100.0	パン、和・洋菓子、米飯類等の製造および販売
フォーリーブズ PTE.Ltd.(シンガポール)	1,250千S\$	60.0	ベーカリーの経営
株式会社末広製菓	100	100.0	米菓、調理パン、米飯類等の製造および販売
PT.ヤマザキ インドネシア(インドネシア)	8,830億Rp	51.0	パン、和・洋菓子等の製造および販売
株式会社ヤマザキ物流	300	100.0	物流事業
株式会社サンロジスティクス	380	100.0	物流事業
株式会社ヤマザキエンジニアリング	80	100.0	食品製造設備の設計、監理および工事の請負

- (注) 1. 上記のうち、フォーリーブズ PTE.Ltd.およびPT.ヤマザキ インドネシアは、当期より新たに重要な子会社として記載することといたしました。  
 2. 当社は、2021年2月22日付で(株)不二家の普通株式72,900株を追加取得し、議決権比率は54.4%となりました。  
 3. (株)ヴィ・ド・フランスは、2021年7月7日付で減資し、資本金100百万円となりました。  
 4. (株)イケダパンは、2021年7月7日付で減資し、資本金100百万円となりました。  
 5. 大徳食品(株)は、(株)サンデリカ全額出資の子会社であり、当社の議決権比率は間接所有割合であります。  
 6. (株)サンロジスティクスは、当社と(株)ヤマザキ物流がそれぞれ50%ずつ出資しており、当社の議決権比率は間接所有を含む割合であります。  
 7. 連結子会社は、上記重要な子会社18社を含む34社であります。

## 事業所一覧



本社	東京都千代田区岩本町 3-10-1	大阪第一工場	大阪府吹田市幸町29-1
松戸工場	千葉県松戸市南花島向町319	神戸工場	兵庫県神戸市西区高塚台 6-19-1
千葉工場	千葉県千葉市美浜区新港22	大阪第二工場	大阪府松原市三宅東 2-1835-5
武蔵野工場	東京都東久留米市柳窪 2-5-14	阪南工場	大阪府羽曳野市広瀬161
埼玉工場	埼玉県所沢市坂之下85	京都工場	京都府宇治市榎島町目川100
杉並工場	東京都杉並区高井戸西 3-2-30	名古屋工場	愛知県名古屋市中区玉池町36
横浜第一工場	神奈川県横浜市戸塚区上柏尾町15	安城工場	愛知県安城市二本木新町 2-1-3
横浜第二工場	神奈川県横浜市都筑区東方町188	岡山工場	岡山県総社市井尻野800
古河工場	茨城県古河市丘里 7	広島工場	広島県広島市安佐北区大林 2-3-1
伊勢崎工場	群馬県伊勢崎市粕川町1801	福岡工場	福岡県古賀市古賀69
仙台工場	宮城県柴田郡柴田町槻木白幡 2-9-1	熊本工場	熊本県宇城市松橋町浦川内2388
新潟工場	新潟県新潟市江南区二本木 4-12-8	安城冷生地事業所	愛知県安城市二本木新町 2-1-3
十和田工場	青森県十和田市稲生町 1-13	神戸冷生地事業所	兵庫県神戸市西区高塚台 6-19-1
札幌工場	北海道恵庭市恵南10-1	海外駐在員事務所	米国、パリ、台北、上海、ジャカルタ、ホーチミン

# 株主メモ

---

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当の基準日	毎年12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公 告 方 法	電子公告によるものとし、当社のホームページ ( <a href="https://www.yamazakipan.co.jp/ir/koukoku/">https://www.yamazakipan.co.jp/ir/koukoku/</a> ) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。
株 式 の 上 場	東京証券取引所市場第1部

---

## 株式に関する手続き

- 株式に関する各種手続き(住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱いしております。詳しくは、お取引の証券会社にお問い合わせください。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていない株主様の株式につきましては、特別口座で管理されております。特別口座に関する各種手続き(証券会社の口座への振替(※)、住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、三井住友信託銀行にてお取扱いいたします。

(※)証券会社の口座への振替について

特別口座では株式の売買を行うことはできません。売買を行う場合は証券会社の口座に株式を振り替えてください。

・証券会社の口座をお持ちでない株主様は、あらかじめ証券会社で口座開設をしてください。

・単元未満株式の買増請求・買取請求につきましては、特別口座のまま行うことができます。

特別口座に関する各種手続きに必要な用紙のご請求は、上記のフリーダイヤルまたは下記のホームページで受付しております。

◎ ホームページアドレス <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

- 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行にてお取扱いいたします。